

第9節 へき地医療

現状と課題

無医地区・準無医地区

○ 県内には、医療の確保が困難な無医地区<sup>69</sup>が令和4年10月末日現在、3市町村5地区、また、準無医地区<sup>70</sup>が10市町村16地区あり、これらの地区は峡南医療圏及び富士・東部医療圏に集中しています。

無歯科医地区・準無歯科医地区

○ 県内には、歯科医療の確保が困難な無歯科医地区<sup>69</sup>が令和4年10月末日現在、6市町村8地区、また、準無歯科医地区<sup>70</sup>が9市町村15地区あり、これらの地区は峡南医療圏及び富士・東部医療圏に集中しています。

【無医地区】

医療圏	市町村	地区	最寄りの二次救急医療機関
中北	北杜市	和田・黒森	塩川病院
富士・東部	都留市	大平	都留市立病院
	大月市	瀬戸	大月市立中央病院
		浅川	大月市立中央病院
2医療圏	3市町村	5地区	—

【無歯科医地区】

医療圏	市町村	地区
中北	北杜市	和田・黒森
峡南	身延町	曙
	都留市	大平
富士・東部	大月市	瀬戸
		浅川
	奥山	奥山
3医療圏	富士河口湖町	富士ヶ嶺
	小菅村	多摩川地域
3医療圏	6市町村	8地区

【準無医地区】

医療圏	市町村	地区	最寄りの二次救急医療機関
中北	甲府市	古関・梯	市立甲府病院
	北杜市	比志	塩川病院
峡東	山梨市	三富	山梨市立牧丘病院
	笛吹市	芦川町全域	笛吹中央病院
峡南	甲州市	天目	勝沼病院
		碓島	飯富病院
		保	飯富病院
		西山	飯富病院
	身延町	奈良田	飯富病院
		折八	市川三郷病院
		曙	飯富病院
		三保	市川三郷病院
		大須成	飯富病院
		—	—
富士・東部	富士河口湖町	富士ヶ嶺	山梨赤十字病院
	小菅村	長作	上野原市立病院
	丹波山村	鴨沢	大月市立中央病院
4医療圏	10市町村	16地区	—

【準無歯科医地区】

医療圏	市町村	地区
中北	甲府市	古関・梯
	北杜市	比志
峡東	笛吹市	芦川町全域
	甲州市	天目 一之瀬高橋
峡南	早川町	碓島
		保
		西山
		奈良田
	身延町	折八
		三保
		大須成
		佐野
富士・東部	小菅村	長作
	丹波山村	鴨沢
4医療圏	9市町村	15地区

資料：無医地区等調査（厚生労働省）

資料：無医地区等調査（厚生労働省）

<sup>69</sup> 無医地区、無歯科医地区…原則として医療機関（歯科医療機関も含む）のない地域で、当該地区の中心的な場所を起点として、概ね半径4kmの区域内に50人以上が居住している地区であって、かつ容易に医療機関を利用できない地区。

<sup>70</sup> 準無医地区、準無歯科医地区…無医地区、無歯科医地区には該当しないものの、無医地区、無歯科医地区に準じた医療の確保が必要な地区として、知事が厚生労働大臣に協議の上、認めた地区。

※ 無医地区、無歯科医地区、準無医地区、準無歯科医地区を以下「無医地区等」という。

- 本県の無医地区等の推移は次のとおりであり、人口や交通事情の変化等により無医地区、無  
 歯科医地区から準無医地  
 区、準無歯科医地区への変  
 化は見られますが、概ね同  
 数で推移しています。

(単位：地区、人)

		平成16	平成21	平成26	令和元	令和4
無医地区	地区数	9	8	8	7	5
	人口	1,373	894	781	1,552	651
準無医地区	地区数	11	12	12	14	16
	人口	2,663	2,534	2,193	1,937	2,804
合計	地区数	20	20	20	21	21
	人口	4,036	3,428	2,974	3,489	3,455

(単位：地区、人)

		平成16	平成21	平成26	令和元	令和4
無歯科医地区	地区数	14	10	10	10	8
	人口	3,359	1,833	1,660	3,022	2,155
準無歯科医地区	地区数	6	11	11	14	15
	人口	1,715	1,721	1,332	1,180	1,241
合計	地区数	20	21	21	24	23
	人口	5,074	3,554	2,992	4,202	3,396

資料：無医地区等調査・無歯科医地区等調査（厚生労働省）

**へき地医療を担う医療機関等**

- 本県では、無医地区等の医療を確保するため、へき地医療拠点病院<sup>71</sup>の指定、へき地医療拠  
 点病院が行う施設・設備整備や無医地区等に対する巡回診療等への助成、へき地診療所<sup>72</sup>が行  
 う施設・設備整備への助成、過疎地域等特定診療所<sup>73</sup>が行う施設・設備整備への助成を行い、  
 へき地医療対策を進めています。

区分	医療圏	医療機関	所在地
へき地医療拠 点病院	中北	塩川病院	北杜市須玉町藤田773
	峡南	市川三郷病院	西八代郡市川三郷町市川大門428-1
		飯富病院	南巨摩郡身延町飯富1628
	峡東	加納岩総合病院	山梨県山梨市上神内川1309
	富士・東部	大月市立中央病院	大月市大月町花咲1225
		ツル虎ノ門外科・リハビリテー ション病院	都留市四日市場188
	4医療圏	6施設	-
へき地診療所	中北	甲府市直営宮本診療所	甲府市御岳町2359
		甲府市直営上九一色診療所	甲府市古閑町1174
	峡東	笛吹市芦川国民健康保険診療所	笛吹市鶯宿466-1
		南部町国民健康保険診療所	南巨摩郡南部町南部8050-1
	富士・東部	南部町国民健康保険万沢診療所	南巨摩郡南部町万沢3404-1
		上野原市立病院附属秋山診療所	上野原市秋山7112
		道志村国民健康保険診療所	南都留郡道志村7710
		丹波山村国民健康保険診療所	北都留郡丹波山村903
		丹波山村鴨沢出張診療所	北都留郡丹波山村5011
		国民健康保険小菅村診療所	北都留郡小菅村4631-1
平野診療所	南都留郡山中湖村平野141-1		
	4医療圏	11施設	-
過疎地域等特 定診療所	富士・東部	道志村国民健康保険歯科診療所	南都留郡道志村7710
	1医療圏	1施設	-

<sup>71</sup> へき地医療拠点病院…へき地医療を確保するため、無医地区等を対象とした巡回診療など、へき地における医  
 療活動を継続的に実施できると認められる病院で知事が指定する病院。

<sup>72</sup> へき地診療所…概ね半径4kmの区域内に他に医療機関がなく、その区域内の人口が原則として人口1,000人  
 以上あり、かつ、最寄りの医療機関まで通常の交通機関を利用して（通常の交通機関を利用できない場合は徒歩  
 で）30分以上の時間を要する場所にある診療所。

<sup>73</sup> 過疎地域等特定診療所…過疎地域等に開設する眼科、耳鼻いんこう科又は歯科の診療所。

### へき地医療を担う医療機関等の確保

- 本県では、へき地における高齢化が進み、容易に医療機関を利用できない人々がいることから、引き続きへき地医療拠点病院、へき地診療所、過疎地域等特定診療所への支援を行うとともに、ICTを活用し、へき地の医療提供体制を確保していく必要があります。

### 山間地における救急医療体制

- 救急医療体制の充実を図るため、平成24年4月から、救急医療用ヘリコプター（ドクターヘリ）を運用しています。
- ドクターヘリは、専門の医師・看護師と専用の医療機器・医療資機材を搭載して救急現場に出動することにより、一刻も早い初期治療と医療機関への搬送ができ、救命率の向上、後遺症の軽減、遠隔地の救急医療の向上等に繋がることが期待されています。

### へき地医療を担う医師の確保

- へき地医療を担う医師は全国的、全県的な医師不足を反映して慢性的に不足しており、また、へき地診療所に勤務する医師の高齢化と併せると、今後ともへき地医療を担う医師の確保が重要な課題となっています。
- 本県では、へき地医療を担う医師を確保するため、自治医科大学(栃木県下野市薬師寺3311-1)への入学者を毎年2名程度確保し、卒業後に原則9年間、へき地の医療機関等における勤務を義務付けています。(令和5年4月現在、卒業生は103名、在学生は13名で、卒業生のうち79名は県内の医療機関に従事し、このうち40名が県内のへき地医療等に従事しています。)
- また、山梨大学では医学部に地域枠推薦制度を創設するなど、地元の医療機関への定着を目的とした医師確保に向けた取り組みを進めています。
- 引き続き、両大学や山梨大学に設置した地域医療支援センターと連携を行い、へき地医療に従事する医師の確保を図っていく必要があります。

## 圏域の設定

- へき地医療拠点病院等を中心とした地域における医療提供体制を確保する必要があることから、二次医療圏ごとに圏域を設定します。

## 施策の展開

### へき地医療を担う医療機関に対する支援

- 無医地区等の医療を確保するため、へき地医療拠点病院の医師等による医師派遣や巡回診療への支援、施設・設備整備への支援を行います。
- へき地における診療所の診療機能の向上を図るため、施設・設備整備への支援を行います。

- 過疎地域等特定診療所における診療機能の向上を図るため、施設・設備整備への支援を行います。

#### 八き地医療を担う医師の確保

##### 【総合的な医師確保対策の実施】

- 八き地勤務医及び八き地医療を後方支援する病院の医師を確保するため、全県的な医師確保対策を実施します。

##### 【大学等との連携】

- 今後とも自治医科大学、山梨大学、地域医療支援センターと連携を密にし、八き地医療に従事する医師の確保を図っていきます。

#### 八き地医療提供体制の充実

- 救急医療体制を確保するため、山間地におけるランデブーポイント（離着陸場）を増やすなど運航体制の整備を進め、今後もドクターヘリを積極的に活用します。
- 医療機関の抱える時間的・距離的制約に対応でき住民の利便性向上に資するオンライン技術等を活用した遠隔医療等の活用促進に取り組みます。